

# とらみ



市議会だより

## 10月23日開催の「議会報告会」

(この内容については、次号に掲載します)

|            |        |
|------------|--------|
| 第3回定例会     | 2~3P   |
| 総括質疑       | 4~5P   |
| 常任委員会審査報告  | 6~7P   |
| 市政を問う 一般質問 | 8~13P  |
| 承認・可決した条例等 | 14~15P |
| 全員協議会だより   | 16P    |
| 議会のうごき     | 17P    |
| 私の一言       | 18P    |

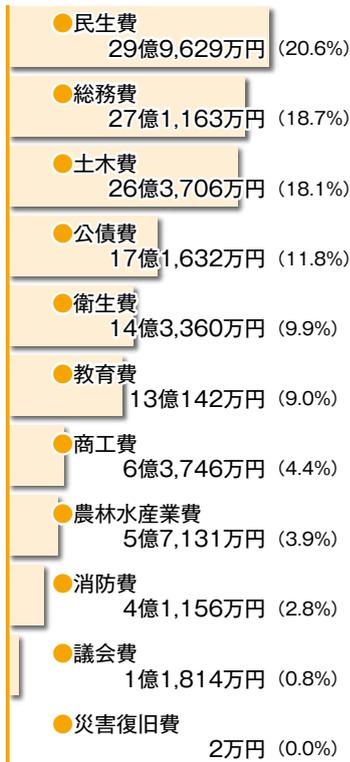
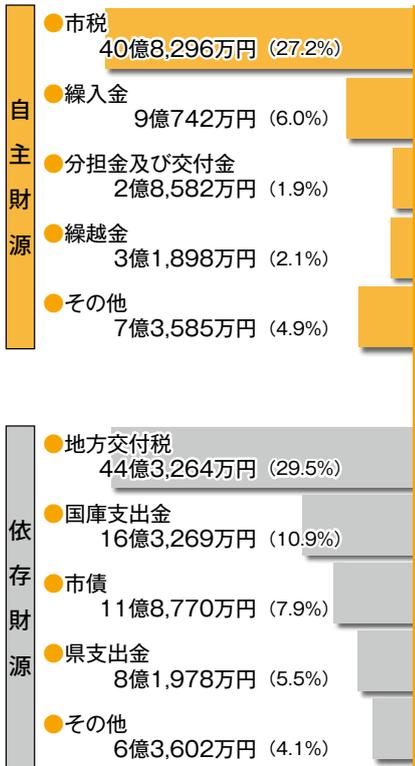
Vol.27

2010 11/1

## 一般会計決算額

歳入 150億3,986万円

歳出 145億3,481万円



# 9月定例会

21年度各会計決算を認定

一般会計（歳出）

145億3481万円

平成22年第3回定例会は、9月1日から24日までの24日間の日程で開催され、平成21年度各会計決算及び22年度各会計補正予算を可決したほか、条例、請願、陳情などを審議しました。

## 特別会計・公営企業会計の決算額

単位：万円

| 会計名    | 歳入（収入）            | 歳出       |          |          |
|--------|-------------------|----------|----------|----------|
| 特別会計   | 国民健康保険            | 29億9,511 | 27億6,373 |          |
|        | 老人保健              | 3,385    | 3,344    |          |
|        | 介護保険              | 22億75    | 21億8,092 |          |
|        | 地域改善地区住宅改修資金等貸付事業 | 2,117    | 4,266    |          |
|        | 工業地域開発事業          | 0        | 0        |          |
|        | 後期高齢者医療           | 2億2,144  | 2億1,170  |          |
| 公営企業会計 | 水道事業              | 収益的      | 6億8,985  | 6億4,612  |
|        |                   | 資本的      | 2,010    | 3億2,747  |
|        | 下水道事業             | 収益的      | 13億9,196 | 12億2,361 |
|        |                   | 資本的      | 7億3,751  | 11億8,097 |
|        | 病院事業              | 収益的      | 15億162   | 15億4,972 |
|        |                   | 資本的      | 2億7,864  | 3億1,826  |



代表監査委員  
竹内春彦

### 決算審査報告

### 事務事業を

### 着実に実践・実現

地方自治法、地方公営企業法や財政健全化に関する法律など法令の規定及び東御市条例・監査基準・監査計画に基づき、決算審査・例月出納検査・定期監査・財政健全化判断比率審査や東御市の出資先、指定管理者、財政援助団体、指定金融機関、請負業者に対する工事技術等への監査、必要により随時監査を実施しました。

その結果を七種類の報告書にまとめ、市議会議長及び市長に報告し、適切な事後処理対応を要請しました。  
**各審査・監査の総括意見**

一、本市においては、直面している

厳しい社会情勢や市民ニーズ・行政需要の変化に対する確かつ積極的に対応され、重点的・効率的な事務事業の執行に当たられ、県下他市には余り例を見ない成果を挙げられています。その結果が住民福祉の充実に向かって順調に進捗しており、その労を多く認めました。

二、一般会計・特別会計及び公営企業会計の歳入歳出決算並びに付属書類は適切に作成されており、計数に不適合等の不備は認められません。

三、財産・財務に関する事務の執行

# 決算特別委員会審査報告



決算特別委員長  
柳澤 旨賢

本委員会は、9月13日に付託された平成21年度東御市一般会計決算認定について、各常任委員会の予備審査結果に基づき、9月21日に審査し

た結果、原案を認定すべきもの決定した。

なお、原案を認定するにあたり次の意見を付することにした。

## 【付帯意見】

- 一 経済情勢の先行が見えない中、市財政においても市税の減収等不安定要素もあり、血税という意識をさらに強くする必要がある。今後の市政運営にあたっては、公金の厳正な管理、人材の育成と適切な配置、さらには財産の適正な管理等に十分に努力されたい。
- 一 市立保育園は1地区1園の方向が示され、26年度には5地区すべての改築工事が終了する予定であるが、園舎の改築とともに、保育の質の向上が不可欠である。保育園費については、各園の運営がより効果上がるよう、十分に配慮されたい。
- 一 児童・生徒をはじめとする市民の安全確保のため、グリーンゾーン設置等、道路交通安全施設の整備に積極的に取り組まれない。

21年度一般会計決算認定の採決の様様



は、適合かつ適正に処理されています。

## 財政健全化比率は法律に適合

一、実質公債費比率は、前年度より1・3%改善、14・7%で早期健全化基準25%を下回り、堅実な財務内容となっています。

二、将来負担比率は、111・5%で早期健全化基準350%を大きく下回り法律に適合しています。

特にこの比率算定の対象となる土地開発公社所有土地のうち、東御市発足以来懸案事項となっていた旧町村当時の先行取得用地の流動化に向け、21年度に一定の道筋をつけたこ

とは評価に値します。

## 職員の活躍を期待

市民生活を彩る使者の立場にある職員は、市民益を「守る」と言う基本本任務即ちマナー・モラル・ルールの基本をより忠実に実践し、気配り・行動・信頼・共鳴・誘発の実現に向けパブリックサーバント（公僕）としての基本姿勢を貫き、自信を持って公務に当たって頂くように審査・監査を通して要望いたしました。今後の活躍を期待して止みません。

概略は以上のとおりです。審査・監査の講評は、東御市公告式条例の規定を準用して公表しております。

## 平成21年度東御市一般会計

### 歳入歳出決算認定について

#### 賛成討論

清水新一議員

する。

予算に対する執行率は95・1%と計画的に事業が実施されていることを認めるものである。

経済情勢が厳しい中、市税からもわかるように、今後、自主財源をどのように確保するかが問われるところである。長期的な見通しを立て、市民と協働のまちづくりを一層心掛けると共に、節税はもちろんのこと健全財政に努めて頂くことを要望し、予算執行上適切に実施されたことを認め賛成討論とする。

# 総括質疑

～こんな点は、どうなっているか～

市から提案された補正予算案、決算認定の総括質疑が行われました。その後、決算認定にあたってはそれぞれの常任委員会において予備審査が行われた後、決算特別委員会において、審査されました。総括質疑では全体的な問題について質問や意見が交わされました。その主な質疑を紹介します。

## 平成22年度一般会計補正予算

**問** 県・東深井線道路改良調査委託料は、県から東御消防署へ通じる道路の調査費だと思いが、あまりにも唐突な話です。東御清翔高校の校舎を分断することで、非常にお金がかかります。高校・県教育委員会は道路計画を承知していたのですか。

**総務部長** 当然お金がかかることで

すので、補助事業を検討、市内の道路網全体としての位置づけと、舞台が丘の整備ということが両方実現できる方向で検討していきたい。県教育委員会とは今まで3回、いろいろな形で協議させていただいています。

**問** 笑顔で登校支援事業補助金とは、名前から不登校対策の一環と分かりますが、どんな点を強調した趣旨に基づき補助金ですか。

**教育部長** 学校に行きたくても行け

ない児童・生徒に、学校が地域と連携してきめ細やかな支援をし、不登校を出さないという積極的な取り組みをし、笑顔で学校生活が送れるようにということが目的になっています。

**問** 舞台が丘の整備実施設計委託料は、どの範囲の建物、棟ですか。舞台が丘として計画されている設計のすべてと解釈してよいですか。

**総務課長** 本庁舎の改修、増築、図書館、舞台が丘会館等の範囲、仮設に必要な設計部分と地質調査です。子育て支援センター、中央公民館は新たに対応していきます。

**問** 御牧乃湯の施設全体改修費工事設計委託料があるが、はたして、市にとつて必要かどうか疑問を感じます。銭湯のような風呂をつくることになる、委託料だけでは運営できない。これをつくることによって赤字を助長するかどうか聞きたい。

**市長** 利用者の使いやすさ、全体の動線などの見直しを今回の予算で行い、今回の大規模改修で、より少ない人数でしっかり管理できる機能、採算の取れる状態になるよう振興公社と詰めながら頑張っていきます。

**問** 児童手当費の現況届の増額補正ですが、何の現況届か、現況届の未申請者の把握が大変難しいというが、

東御市ではどうですか。

**福祉課長** 平成22年3月分で終わる児童手当の現況届の未申請者（2年間有効）に制度が終了する通知をし、子ども手当は、9月までに申請を促す通知をしました。該当される全員が提出していただくこの費用が必要で、補正しました。未申請者がないように、今、努力しています。

平成22年度東御市国民健康保険特別会計補正予算

**問** 出産一時金について、歳出は60人だが国庫負担金は25人分である。この差はどういうことですか。

**市民課長** 昨年の出産一時金は36人で、今年度は25人でスタート。今後不足すれば補正で対応します。

東御市体育施設条例等の一部を改正する条例

**問** 指定管理の委託料はどのくらいで、人件費は大幅に減るのか。市民に対応した質の高いサービス、スポーツ選手の育成等たくさんあるが、協定はどのように結ぶのですか。

**生涯学習部長** 指定管理者の申請時に全体の管理料等を算定します。で、具体的な指定管理料はこれからです。人件費もかなり圧縮できるといふふうに考えています。指定管理者とは基本協定を結び協定内容を履行していただきます。

**平成21年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について**

**問** 教育費と家庭教育力向上を図る委員会費で現在、英語授業の検討、心の教育、不登校対策等の5つの特別委員会があるとのことだが、この学力向上を図ることについては、家庭との連携プレーが必要である。この委員会と特別委員会との関係をどのように考えているか。また、教育委員はどのように係わっていますか。

**教育長** 学力向上を図るには、家庭の協力が不可欠ですから、家庭教育力を図る委員会とのバランスを重視していきます。教育委員のかかわりは、得意分野で、精力的に意欲的に頑張っていたらと思います。

**問** 高齢者の困りごと相談事業は、21年度からの新規事業ですが、相談者が一人と、とても少ない。今後の事業についてどう考えていますか。

**福祉課長** 相談事業は約100万円の支出で夜間の相談者は一人でした。これは、特養や老健施設に、24時間体制でいつでも相談できるということから始めた事業です。制度としては残していきたい事業で、今年度は、相談があったらそれについてお支払いする方法を変えました。

**問** 農業委員の報酬等に要した費用がありますが、農業委員会として、基

幹産業であるくるみや巨峰等東御市の特産を、今後どう考えて位置付けていくのか、目標を持っていただきたい。農業委員会の在り方、役割について聞きたい。

**農林課長** 農業委員会の役割ですが、遊休農地や農地の流動化や提供、やりとりの推進を行う中で、農地相談等を受けています。特産の巨峰ぶどう園の荒廃が進んでいる中、農地パトロールの強化を行い、ぶどう園の再生を図り、新規就農者にリースできればと考えています。

**問** 農業振興費の食の掘り起こしプロジェクトの委託料で、サフォークをメインにしているが、くるみや白土馬鈴薯など、地元の特産品がある。今後、どのように振興を図っていくのか聞きたい。

**市長** 本来この地の適地適作のくるみやぶどうなどがたくさんあるのに、それを生かしていくことが重要だと思っています。今回、マスコミを活用し、この地域の良さに関してかなり、アピールできたことを認識しています。

**問** 湯の丸高原観光対策事業費ですが、湯の丸は、東御市にとって重要な観光資源であり、夏40万人の観光客がある。これをどう地域の活性化に活用するか聞きたい。

**産業建設部長** 湯の丸という特性を活かし、観光客のニーズを考えながらデータを集め、満足されて帰っていただく努力が必要です。

**問** 温泉施設の委託料計上で、入館者数は、3年間ほぼ横ばい、ただ、ゆるふる田中は、1万5千人位増えているが収入は減っている。年間利用者がハードに利用しているものと思

われ、客単価が落ちてきている。今後経営をどうするか。

**市長** いわゆるジム会員の年会費が適正価格かどうか、健康教育医学研究所が入るか、健康増進という立場から、3階部分の利用方法を考えるという、方策なども含め、重要な検討事項と認識しています。

**22年度一般会計予算**

**2億3324万円補正を可決**

9月13日、平成22年度一般会計歳入歳出予算にそれぞれ2億3324万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を132億8782万2千円とする補正予算を可決しました。

| 主な内容 (単位:万円、1万円未満四捨五入)        |       |
|-------------------------------|-------|
| コミュニティ FM放送委託料                | 756   |
| 舞台が丘整備実施設計委託料                 | 7,000 |
| 上田西高等学校創立記念事業補助金              | 30    |
| 母子自立支援教育訓練給付事業費               | 75    |
| 子育て家庭優待パスポート事業                | 62    |
| 加沢集会所トイレ改修工事                  | 59    |
| サンファームくるみ研究用備品購入費             | 35    |
| 緊急雇用創出事業東御市緑の雇用創出事業委託料        | 1,260 |
| 松林保護樹林整備事業(樹種転換)委託料           | 400   |
| 有害鳥獣駆除対策協議会負担金                | 40    |
| 御牧乃湯施設全体改修工事実施設計委託料           | 210   |
| 温泉施設修繕等                       | 1,000 |
| 道路等緊急修繕(道路維持・小規模土木)           | 7,058 |
| 県・東深井線道路改良調査委託料               | 250   |
| 安心子ども基金事業都市公園遊具更新工事費          | 557   |
| 道路後退用地整備事業費                   | 1,260 |
| 田中小学校吹奏楽部東海小学校バンドフェスティバル出場補助金 | 120   |
| ブック童夢みまき屋根修繕                  | 72    |
| 東町公民館施設整備補助金                  | 73    |

本委員会は、9月15日、16日、および17日に、付託された平成21年度一般会計歳入歳出決算の予備審査他、条例案1件、その他1件、請願1件、陳情1件について審査し、後に現地調査を実施しました。

平成21年度一般会計歳入歳出決算認定についての予備審査では、総務文教委員会所管分について、認定すべきものと決定しました。

条例は、「東御市体育施設条例の一部を改正する条例」であり、市内体育施設及び中央公園の管理について、指定管理者制度を導入するものであり、原案を可決すべきものと決定しました。

その他の案件では、「長野県地方税滞納整理機構の設置について」で、県単位の広域連合を組織し、構成団体が広域連合への移管の手続を行った事案に係る滞納処分及びこれに関連する事務等を行うというもので、原案を可決すべきものと決定しました。

請願は、「東御市立文書館設置を求める請願」で、趣旨採択し市長に送付すべきものと決定しました。

陳情は、「郵政民営化のさらなる推進を求める

総務

## 東御市民病院に

### 医師2名を確保

本委員会は、平成21年度一般会計歳入歳出決算の所管事項の予備審査と特別会計決算5件、病院事業会計決算についての審査を行い、特別会計、病院事業会計は全議案を認定すべきものと決定しました。

議案第56号の老人保健特別会計決算の審査の中で、老人保健医療制度は平成20年4月から後期高齢者医療制度へ移行され、経過措置が取られました。22年度をもって本特別会計は廃止されるとの説明がありました。

議案第58号の地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計の認定にあたっては、次の意見を付しました。

「住宅新築資金等貸付事業に伴う起債の繰上償還を行ったことは評価できるが、借入金の返済遅延者に対しては、引き続き督促等を行い、回収に努力されたい」。

また、議案第63号の病院事業会計の認定にあたっては、次の意見を付しました。

「医師不足の中、市民病院が2名の医師を確保したことは、評価できる。しかしながら、平成20年度に比べ病床利用率が低下したことは、憂慮すべ

社会

## 下水道使用料の賦課徴収漏れ等 解決に向けた一層の対応を

本委員会は、9月15日、16日、21年度一般会計決算の所管事項の予備審査と議案4件（条例案1件含む）について審査を行い、その後現地調査を行いました。

議案第70号の条例等の一部を改正する条例を全会一致で可決しました。

議案第59号、議案第61号及び議案第62号については、3議案とも全会一致で原案を認定することと決定しました。なお、議案第62号を認定するにあたり、下水道使用料の賦課徴収漏れと、受益者負担金の消滅時効到来による懸案事項については、解決に向けての対応がされているが、公平性の観点からも市民への一層の協力依頼と徴収の努力に尽力し、健全な未収金処理がなされるよう努められたいとの意見を付しました。また、審議の中で次のような意見、要望をしました。

(1)平成21年度は、資本的収入における一般会計からの繰入金を受け入れ科目を補助金から出資金に変更し、2千7百万円余の消費税節税となったことは、当市が早期に公営企業法の適用を受けたことによる利点であり、経営の

産業



アケボノゾウの発掘現場を視察

陳情」で、採択すべきものと決定しました。  
 現地調査では、エフエムとうみのスタジオ及び送信施設、戌立遺跡の状況、土地開発公社からの買い戻し土地の一部の状況、アケボノゾウの発掘現場及び展示の状況、梅野記念絵画館の館長交代後の状況について調査を行いました。

き事態であると全委員の総意として出された。平成22年度は体制が整った中で、病床利用率の向上をはじめ、一層の経営改善に努められたい」。

現地調査では、乙女平の宅幼老所おひさま（通所介護施設）を視察しました。平成20年に県と市の助成を受け、民家を改修して開所したもので、地元市民が運営する手作りのデイサービスとお茶のみ処です。「介護保険を利用する人も、利用しない人も、自由にご利用いただけます」との吉田理事長の話があり、とても思いやりのある、まさに地域力、地域住民で支える施設と感じました。

このほか、障がい者支援施設の布下、島川原、津の3施設、田中の岩井屋（通所介護支援施設・障がい者就労支援施設）を視察しました。岩井屋の近くには畑があり、数多くの野菜が栽培されていました。野菜は、道の駅雷電くるみの里やJ A、



宅幼老所「おひさま」で説明を受ける

東京三軒茶屋の店等へ出荷しているとのことでした。また、施設では、子どもから高齢者、障がいのある人が同じ空間で過ごしています。



田中駅南口の整備状況を現地調査

健全化を図るとともに一般会計の実質公債比率、将来負担比率及び健全化判断比率の抑制に努められたことは大いに評価するところである。

(2)下水道ビジョンが策定されるが、今後、施設に対する修繕費等の維持管理費が発生することが予測されることから、アウトソーシングによる人件費抑制策に取り組む等、将来を見据え一層の健全化に取り組まねたい。

その後、現地調査を行い、北御牧地区山崎において、農地・水・環境保全向上対策事業としての、二ホンジカ防護柵設置の状況を視察しました。田中駅南口整備事業の整備状況及び利用状況等を調査し、今後より利用者増のための意見交換をしました。

# 市政を問う

一般質問は、とうみケーブルテレビおよび上田ケーブルビジョンで中継していますので、ご覧ください。

本定例会の一般質問は、9月7日・8日の2日間にわたり、10人の議員がそれぞれ行いました。その内容を要約してお知らせします。

## 質問項目

### 若林 幹雄

- ・街づくりは今後とも市民の意見に耳を傾け、協働の精神で進めるべきだ
  - ・不祥事解決のために管理者のマネジメント力の向上に取り組むべきだ
  - ・指定管理者制度の導入により、サービス向上と業務改革は進んだのか
  - ・異常気象により経営危機に陥っているブドウ栽培農家への支援が必要だ
- 阿部貴代枝
- ・生活改善について



若林 幹雄 議員

**問** 舞台が丘整備の現状はどうか。  
**総務部長** 本庁舎は来年6月頃から増築棟の工事に着手。今年度中には仮事務所の工事を行う。その他の施設も25年度中には完成させる予定だ。

**問** 市民が集まる場所に舞台が丘コーナーを設け情報発信しただろうか。御牧乃湯建設ではカラオケや将棋など市民の要望にも耳を傾けるべきだ。

**問** 舞台が丘整備計画の進捗状況はどうか  
**答** 本館は来年夏着工、最終的に25年度完成予定

**市長** 舞台が丘コーナーは検討したい。使う側からの意見をいただきたい。御牧の湯は交流スペースを設けたいが、カラオケは考えていない。

**問** 市職員による不祥事が相次いでいる。管理者のマネジメントが不十分だったのではないか。  
**総務部長** 市民の皆さんにお詫びしたい。職員間のコミュニケーションが機

### 櫻井 寿彦

- ・情報公開と個人情報保護制度について
  - ・教育委員の選出について
  - ・障がいのある方の生活を守ることに
- 三編 雅枝
- ・新しい福祉のあり方について
  - ・健康遊具の設置について
  - ・議会棟のバリアフリー化について
- 青木 周次
- ・下水道及び合併浄化槽について
  - ・職員の意識改革と市民サービスの向上について
  - ・若者定住促進について
- 石和 大
- ・コミュニティFMについて

能していなかった。服務規律と綱紀粛正に努めたい。

**問** 指定管理者制度は公の施設に民間のノウハウを導入し、経費削減とサービス向上を目的に導入されたが公募の現状はどうか。  
**総務部長** 現在36施設を17団体に委託している。公募は4件だ。



本館の完成模型  
(西側は現状とし、東側を図書館と合築する)

- ・田中駅南口整備事業の評価と活用について
  - ・児童、生徒の学力・体力について
  - ・森林(もり)づくりについて
- 蓮見 喜昭
- ・市職員OBの市関連団体への再就職について
  - ・農業の安定経営について
- 山崎美喜子
- ・教育問題について
- 依田 政雄
- ・社会基盤の老朽化への備えについて
  - ・ゲリラ豪雨災害にどう対応するか
  - ・市民への情報格差をなくすための取り組みについて
  - ・避難支援全体計画策定について

**問** 上田市は公募が原則だが、当市は申請方式だ。決めるのも市の職員だ。これで改革が進むのか。  
**市長** 公募になじまない環境の中で作り上げたものがある。その結果として非公募が多くなったことをご理解いただきたい。

**異常気象でぶどう農家は経営危機に陥っている**

**問** 今年の異常気象で親子ぶどうが大半で、ぶどう農家は経営危機に陥っている。市の対応策はどうか。  
**産業建設部長** 巨峰は当地の基幹作物だ。施設化や新品種への切り替えを進めたい。具体的な支援策はさらに検討したい。

**問** 新盆見舞いの生活改善の推進の張り紙が張ってあっても、お返しを用意している家庭が、まだ多いと感じている。状況をどのくらい把握しているか。現在、お葬式には、多額の費用が必要であり、お葬式も生活改善ができればいいと考えている。

**生涯学習部長** 区長に調査した時は、かなり推進されていると回答されている。まだの部分は、徹底するよう各区を通じ周知を図る。

**問** 現在、教育委員は5名、すべて男性である。教育委員設置の法律でも、著しい偏りがなくように配慮しなければならぬとされている。男女共同参画推進プランにも、平成22年度までに女性の委員割合を40%達成を図るとしている。女



阿部貴代枝 議員

**問** 障がい者通所施設「布下」の利用者に取壊しの説明がない一日も早く当事者との話し合いを指示している

性委員の2人以上の任命を望む。

**市長** 今後の任命については、性別の偏り解消に配慮するべきと認識し、40%以上の女性の登用を考慮すべきと考えている。

**問** 声を出して自分のつらさを表現できない皆様もたくさんおられる。御牧乃湯の改築で、障がい者通所施設布下を取り壊されるが、事前に通所者に何

の説明もされていない。

**健康福祉部長** 今後、通所される方々等と協議を重ね、布下と同じような気持ちで通所していただける環境を整える努力をしたい。

**問** 布下通所者は祢津か島川原のどちらかへの移動となる。布下は現在の島川原の施設と別れた経過があると聞く。十分な配慮をされたいが如何か。



櫻井 寿彦 議員

**問** 高齢者所在不明問題 市に該当する事例はないか

**答** 100歳以上の高齢者 15名の所在を確認

**問** 親の年金の不正受給が絡み逮捕者が出るなど、高齢者の所在不明問題が社会問題になっているが、東御市には該当する事例がないと理解してよいか。

**市民生活部長** 市内に100歳以上の高齢者は15名いるが、職員により全員の所在を確認した。該当の事例はない。

**問** 住民登録され、所在が確認できない不明者は存在するか。その場合、職権

で消除されるのか。

**市民生活部長** 住民票は個人の居住の事実を記録する大切な情報であり、健康保険や年金・福祉など行政サービスの基礎になっている。行政や親族等からの調査依頼は過去5年間で90件に上り、調査の結果30件を職権消除した。

**問** 住民票になく、戸籍上生存とされる100歳以上の高齢者は何人いるか。

**市民生活部長** 戸籍は残っているが所在が確認できない100歳以上の人は28名いる。親族の特定など調査を開始しているが、行き詰まるケースが多い。

**保育園改築計画について**

**問** 田中保育園の改築費用が7億2千6百万円と報道された。他園と比較してもかなりの高額である。算出根拠は。

**健康福祉部長** まだ建設地が決まっていない中で、中央保育園の建設費用や田中地区の土地価格などを参考に、概算の費用として算出した。

**問** 4地区の園を同時進行する中、現職員体制で期限内の事業完了には限界がある。各地区の課題解決には事務局体制の強化は不可欠と考えるか。



地域コミュニティが大切。高齢者を招いての「ふれあい昼食会」



取り壊される障がい者通所施設「布下」

**市長** 布下の社会参画の訓練施設が、居場所作りから就労のための訓練施設に変わっている。早く皆さんと話し合いを持つよう指示している。

※ほかに情報公開と個人情報保護制度について質問した。

**市長** 様々な要因があり遅れてきている。マンパワー不足については真摯に受け止め、内部の協力的体制や外部発注、人員配置も検討し、期限内の完了に向け最大の努力をしていく。

※その他、4月から開始した税金のコンビニ収納の成果について質問した。



農業後継者は定着している

**問** 農業問題について質問する。①東御市の農業の現状はどうか。②東御市の農業はこれからどう変化していくか。温暖化対策は考えているか。③有害鳥

獣の被害および対策はどうか。  
**産業建設部長** 高齢化の進展による農業離れ、後継者の減少による農地の荒廃地化、農業生産の減少、農産物販売価格の低迷、天候不順による不作など、所得の減少など、状況は一層厳しいものとなっている。また、温暖化の影響による作物の出荷時期が早まるなど、従来からの農業に変化が生じてきている。



小山義明 議員

**問** 東御市の農業について  
**答** 恵まれた環境のもと  
新規就農者も増えている

有害鳥獣による食害も数多く発生している。  
一方、稲作においては経営規模拡大による経営の安定化、後継者の定着、土地利用も活性化している。東御市は恵まれた自然環境の中で、農業に従事したいと新規に就農される方も徐々に増えている。

**問** 児童虐待の東御市における状況はどうか、市としての取り組みは。行方不明老人の状況はどうか、市の対応はどのようにやってきたか。自殺防止の状況はどうか、市の対応は。  
**健康福祉部長** 児童虐待の状況は、昨年度相談件数は26件、その内身体的、心理虐待が15件、ネグレクトは11件であった。今年度は4月から現在までに14件の相談があった。市としては、保護者との面談、児童相談所と協力するなど、虐待の防止と早期発見、対応に努めている。  
不明老人については、市で調査したが、今のところいない。自殺者は、平成21年6人、心の相談日も設け防止の対応をしている。  
※他に失業対策についても質問した。



三縄雅枝 議員

**問** 新しい福祉のあり方について  
**答** 共助を基本に地域で支え合う福祉のまちづくりを

**問** 高齢者の不明問題をはじめ、自殺・うつ・DV・虐待と新たな社会問題が表面化している。昨今、いままでの福祉制度では市民の安心・安全は守り切れなると考える。市はこれからの福祉のあり方をどのように考えるか。  
**健康福祉部長** 行政が提供する、現行の法律や制度に基づく福祉サービスだけでは、対応しきれないケースや二

ズが発生している。この事への対応するには、地域で安心して生活を送る事が困難になってきている。これからの福祉施策の課題は地域福祉の推進である。福祉施策の3本柱と言われる自助・共助・公助、中でも共助の部分を中心に地域で支え合うまちづくりを推進する。  
**市長** 福祉の多様化、専門制という事を考え、お互いに協力し、情報交換を行



議会傍聴者に手話通訳の導入を  
(写真は上小地区障害者スポーツ大会での手話通訳)

い、地域のコミュニティを高める事が最も有効な手段であると考えている。小学校区単位の地域づくりを大切に、地

域で助け合おうということをも更に育てていく。

**議会棟のバリアフリー化について**  
**問** 庁舎の改築が計画される中で、議場におけるバリアフリー化について。  
**総務部長** 車いす対応等のハード面については、今回の改修時でなければできない事は、できるだけ実施をする。また、ソフト面からの手話通訳、介助犬、盲導犬の同伴等については、今後十分議会事務局とも協議して実施計画の中で進めていく。  
※その他にゲートボール場等への健康遊具の設置についても質問した。



青木周次 議員

**問** 合併浄化槽の申請窓口を一本化してはどうか

**答** 23年度から上下水道局へ一本化していく

**問** 合併浄化槽の設置申請は、2つの窓口へ行かなければならないようだが、一本化してはどうか。

**上下水道局長** 設置届は市民課生活環境係、補助金交付事務等は、上下水道課下水道係が窓口となっているが、23年度からは上下水道局へ一本化していきたい。

**問** 下水道使用料の賦課徴収漏れと、

**問** FM放送には期待の半面、不安もあるが、健全運営の見通しはあるか。

**市長** 市民が聞きたいと思う放送を期待する。行政情報については委託料千5百万円余を予定している。魅力があればスポンサーも集まると考える。

**問** 市民の放送局として育てていくために、年間千円程度の会費で、サポート1制度を提案したらどうか。

**市長** 市民有志の支援組織があれば、なお運営がしやすくなるだろう。そんな仕掛けも提案できたらと考える。

**問** 田中駅南口が整備されたが、利用者が増加しているか。調査しているか。

**市長** 調査の結果、利用状況はまだまだ低いという状況がある。

**問** 橋上駅にするなど、利便性の向上



石和 大 議員

**問** 下水道受益者負担金の未収金について、その後どのようになっているか。

**上下水道局長** 10件のうち8件は納付誓約ができ、また、受益者負担金については、負担公平の観点から協力金として寄付をお願いしている。

**職員の意識改革と市民サービスの向上について**

**問** 各部署での上司・職員間での報告、連絡、相談がしっかり出来ていないとトラブルが発生するが、どのような事



申請窓口が上下水道局に一本化

**問** (株)エフエムとうみに市は今後どうかかわっていくか

**答** 企業に対する出資者として支援していく

が必要と考えるが、どう施策するか。

**市長** 市との鉄道総合連携計画において24年度にかけて駅舎の改築の検討も行われる。

**問** 駅南側の土地利用や生活基盤整備の計画は具体的に進んでいるか。

**市長** 地区計画の策定や用途変更などについて本年度から計画を具体化する。

**問** 3・5万人から4万人が暮らすま

ちに寄与できる整備計画となるか。

**市長** 駅の橋上化、低廉な住宅用地の提供、公共施設や道路等の整備によって利便性を高め、定住者の増加を促し、駅周辺の活性化を図っていきたい。

**問** お金をかけないで出来ることとして、朝夕の送迎の分散化を働きかけた

り、健康の為に、南口を利用して少し歩いていただくような呼び掛け等を工

を意識して職務を行っているか。  
**総務部長** 職員一丸となって原点からの見直しを図り、再点検、再確認をする中で、会議のあり方、職場内でのコミュニケーションの充実、基本に忠実な業務体制を取り戻すべく取り組んでいる。

**若者定住促進について**

**問** 若者定住促進を進めていくために、どのような補助をしていくか。

**市長** 交流人口の増加、定住人口の増加、子育て支援の充実を柱に、取り組みが可能な事業から、次年度の重点施策に反映させていく。

夫したらどうか。

**市長** 南口利用促進について、市としても前向きに取り組んでいきたい。



(株)エフエムとうみの社内風景



清水新一 議員

**問**

全国学力テストの結果から市独自の取組みは市内小・中学校学力向上を図る作業部会を立ち上げたい

**答**

長野県の公立小・中学校の全国学力テストが実施され、分析の結果から中学で国語、数学ともに平均正答率が全国を下回った。県教委はこれまでの学力向上施策が不十分だったと自己反省しているとの表明があり、学力対策の強化を検討する考えが示された。前回の小学6年生が、中学3年生になり実施されたが、分析の結果を検討した

中で、学校独自の取り組みはなされたか。

**教育長** 今年度から全国学力テストは抽出方式になり、市でも抽出された小・中学校が参加した。抽出調査のため、市の平均値としてのとらえ方はできず、全国および県との比較分析結果は得られなかった。

市独自の取り組みについては、県教



子どもの運動能力の低下が問題視されている

を図る作業部会を立ち上げ、各学校の研究主任を中心に現状の把握や問題点と改善点を洗い出して、今以上の学力向上へ取り組みたい。

**問** 体力について、子どもの運動能力の低下が問題視されているが、体力テスト(スポーツテスト)の分析結果からどのように取り組まれたか、また運動クラブの活動で課題はあるか。

**教育長** 学校と協議しながら、体を動かす機会を増やし、運動の楽しさを味わってもらい、自分から身体を動かす習慣を付けさせたい。

運動クラブの活動上の課題は、休日の練習のあり方、部員数が多く指導がいき渡らない等である。

※その他、森づくりについて質問した。

**問** 定年前に早期退職した市職員が、市の関連団体等に再就職している場合がある。市が斡旋等を行っているのか。

**総務部長** 現在、市からの斡旋は行っていない。

**問** 市、又は市の関連団体に再就職している職員OBは現在何名いるのか。

**総務部長** 新市発足後の就職状況については、社会指導員などの非常勤特別職、医師の再任用と市に關係のある団体への雇用がある。平成22年9月現在において、退職後、再度市に雇用した者は臨時職員を除き、医師2名、非常勤特別職である社会教育指導員3名、市に關連のある社会福祉法人等に5名が勤務している。

**問** 再就職の斡旋は行っていないとの



蓮見喜昭 議員

**問**

市職員OBの市関連団体への再就職について市が再就職を斡旋することは誠に慎むべき

**答**

ことだが、採用の仕方、配置の基準等、市民にはわかりづらいのではないかと採用までのプロセスを情報公開、透明化の一環として公開してはどうか。

**総務部長** 再就職の斡旋を行っていないので、公表は必要ないと考えてきた。

非常勤職員等については広報等で名簿が紹介されており、その実態は何らかの形で明らかになっているが、公開に

については今後検討していきたい。

**市長** 市がOBの就職を斡旋するといふことは誠に慎むべきであると考えている。

**農業の安定経営について**

**問** 今年春の異常気象、梅雨の長雨、猛暑等市内農業を取り巻く環境は大変厳しかった。市として農業の安定経営についてどのように考えるか。



災害にも強い農業経営が求められる

**市長** 農業経営は安定面で、非常に厳しさがつきまとう産業と考える。今後、農業従事者や担当者として、市としてできることを模索していきたい。



山崎美喜子 議員

**問**

東御市の特性を生かした教育であるべきではないか

一人ひとりの子に視点をおき  
学力、生きる力をつける

**問** ① 今回の学習指導要領は、できる

子、できない子の教育格差が助長されると懸念するがどうか。国の方針に一喜一憂することなく、東御市の特性を生かした教育であるべきではないか。

② 北御牧中と東部中の生徒数の格差が問題になっているが、学区制廃止や学校選択制の考えはどうか。北中へは東中通学区から何人行っているのか。ど

んな相談をしているのか。

③ 市の教育の基本に「本を読もう」を掲げている、読書にもっと力を入れるべきではないか。取り組みの実績は、点検しているのか。

④ 市の基本的計画では「学校、家庭、地域が連携するなかで…」と書いてある。これをふまえて教育委員会が、きちんと目標や計画を持つべきである。



小さなうちから読書の習慣を  
(図書館の読み聞かせ)

⑤ 万引き等諸問題がおきている。教育現場どう連携し対応しているのか。  
⑥ 小学校中心の地域づくりはどうか。  
**教育長** ① 一人ひとりに視点置き、

**問**

社会基盤の老朽化への備え  
について

**答**

橋梁長寿命化計画に沿って  
修繕を実施していく。



依田政雄 議員

**問** 全国では、建設から50年以上が経過した道路橋等の社会基盤の割合が、2029年に全体の約半数に及ぶ。当市における現状と老朽化への備えはどうか。

**産業建設部長** 当市の橋梁長寿命化計



橋梁は長寿命化計画に沿って修繕される

画に沿って橋梁修繕を実施し、道路水路については、緊急性や優先度等を判断し、維持管理や修繕工事を実施する。

**ゲリラ豪雨災害にどう対応するか**

**問** 被害が甚大化する集中豪雨や土砂災害の現状にどう対応し、住民の生命と財産を守っていくか。当市における集中豪雨、ゲリラ豪雨災害にどう対応

していくか。

**総務部長** 防災計画の必要に応じた見直しなど、災害の状況に応じた活動体制をとり、避難情報の発令などの確に素早い処置がとれるよう、活動組織の充実を図っていく。

**市民の情報格差をなくすための  
取り組みについて**

確実な学力、生きる力をつけることを目指している。しっかりと落ち着いて腰を据えた姿勢で取り組みたい。  
② 原則、指定学区による通学を義務付けているが、運用の弾力化で対応している。学区制廃止等は、中長期的に見通し、施策をまとめていく、北中へは数人行っている。校長、保護者、本人、教育委員会が話し合い決めていく。  
③ ブックトークなどさまざまな取り組みをしている。読書離れの心配はない。  
④ 指摘をふまえて育成会活動のあり方について、しっかりと考える。  
⑤ 教育委員会を7小中学校で開くなど、連絡をとり、連携している。  
⑥ 学校支援の仕組みづくりにかかわり、活気ある地域づくりをすすめたい。

**問** 完全デジタル放送に移行するが、地デジ対策、対応はどうか。また、FM開局後のオフトーク、北御牧地区の有線放送等の取扱いについては。

**総務部長** 小・中学校、公共施設等の対応については準備を進めている。デジタル化の進捗状況は、本年度中に整備を完了する。

**市長** オフトークと有線放送については、23年の9月30日終了。北御牧地区の有線電話については、24年3月末をもって終了予定である。ケーブルテレビとインターネットの接続は持続していく。

※その他、避難支援全体計画策定も質問した。

平成22年第3回定例会で  
承認・可決した条例等

◆議案第52号

東御市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分承認を求めることについて（専決処分の承認）

東御市立図書館の不適正な会計処理に対する管理監督責任を踏まえ、平成22年8月における教育長の給料月額について、100分の10を減額する特例措置を設けるものです。

◆議案第53号

東御市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処



23年4月から指定管理者制度が導入される

分の承認を求めることについて（専決処分の承認）

◆議案第70号

東御市温泉コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例

温泉コミュニティセンター及び芸術村公園のスポーツ関連施設の利用料金について、東御市体育施設条例に基づき設置する類似の体育施設利用料金と統一を図るものです。施行は23年4月1日から。

◆議案第71号

東御市体育施設条例等の一部を改正する条例

体育施設に指定管理者制度を導入し、充実した市民サービスの提供及び行政運営の効率化を図るものです。東御中央公園についても、利用者窓口の一本化その他充実した市民サービスの提供を図るため、維持管理に関する業務に

関し、指定管理者制度を導入します。施行は23年4月1日から。

◆議案第72号

長野県地方税滞納整理機構の設置について

請願・陳情等

（請願第7号）

東御市立図書館設置を求める請願  
▽請願者 上田・東御・小県地域史

連絡協議会

▽紹介議員 船田貴久夫、

柳澤旨賢、長越修一

▽審議結果―趣旨採択（市長に送付）

（陳情第30号）

◆森林・林業・木材産業施策の積極的な展開についての議会決議、意見書提出について

▽陳情者 林活地方議員連盟全国

連絡会議

▽審議なし（議席配布）

（陳情第31号）

◆安心・安全な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書

▽陳情者 国土交通管理職ユニオ

ン関東支部

▽審議なし（議席配布）

（陳情第32号）

◆郵政民営化のさらなる推進を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果

（陳情第33号）

◆家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果

採択

（陳情第34号）

◆21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果

採択

本会議において採択された陳情について、関係機関への意見書の提出が議員提出議案として提案され、それぞれ可決されました。意見書の主な内容は、次のとおりです。

○郵政民営化のさらなる推進を求める意見書

2005年衆院選の民意を踏まえ、郵政民営化が進められてきました。しかし、現政権において、その民営化自体を否定するかのような郵政改革法案が先の通常国会に提出されました。結果的には廃案となりましたが、衆院審議では与党がわずか1日、約6時間で採決を強行。この法案は日本郵政への政府関与を残したまま、金融事業の自由度を広げるものであり、法案成立後、郵便貯金の預入限度額と、簡易生命保険の加入限度額は約2倍に引き上げられることとしています。成立・施行した場合には、政府の後ろ楯がある郵便貯金へ

## 一般質問に 一問一答方式 を導入

### 23年第1回定例会から

議会では、議会改革に取り組む一環として、議会改革推進委員会を設置して、一般質問のあり方等について調査審議してきました。

その結果一般質問の発言方法について、平成23年第1回定例会から、次の2方式から議員が選択できるものとなりました。

①発言方法は一括質問一括答弁とし、同一の質問事項について3回を超えることができない（現行方式）。

②発言方法は第1回目は一括質問一括答弁とし、2回目以降は一問一答方式として、同一の質問事項について発言回数に制限を設けない。また、答弁は答弁席で行うものとする。

なお、質問時間は、代表質問は答弁を含まず45分以内、個人質問は答弁を含まず30分以内とします。

民間金融機関から預金が流出し、金融機関の貸し出し余力は減少、中小企業融資が停滞する恐れがあり、民業圧迫、中小企業いじめにつながりかねません。

また、この郵政改革法案は、日本郵政を事実上の国有化へ逆行させ、「官製金融」の温存、形を変えた「財政投融資」の復活、安易な国債の購入などにつながる恐れがあり、その結果、国民負担増を招くことが危惧されます。

よって、政府におかれては、「郵政民営化」の流れを止めることなく、郵政関連事業の民営化による経営状況などを踏まえたユニバーサルサービスの確保や利便性の向上などを図るとともに、民営化のさらなる推進を図るよう強く求めます。

○家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書

「家電エコポイント」制度および「住宅エコポイント」制度が本年末までに終了することを受け、消費者や経済界から再延長および延長を求める声も出ています。

この2つの制度は、地球温暖化対策を進め、環境負荷の少ない低炭素社会への転換を図りながら、景気刺激策として経済の活性化にも大きな

効果を発揮しています。

本年度後半には景気対策の効果が薄れてくることが想定されています。現状では、景気はまだ自立回復の軌道に乗っているとはいえません。

政府におかれては、景気回復に向けて重要な局面に差しかかっていることを十分に認識し、今後も経済の押し上げ効果がある家電エコポイント制度の再延長と住宅エコポイント制度の延長を行なうよう強く要望します。

○21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書

わが国の景気の現状は、好調な輸出を背景に、リーマンショック後の最悪期は脱することができました。しかしながら、依然として低成長にとどまっており、「雇用情勢も新卒未就職者が数多く出るほど厳しい状況が続いています。

特に地方経済は深刻で、中小・零細企業は、デフレの影響や公共投資の大幅削減の影響で長引く不況に喘いでいます。

したがって、政府は当面の景気回復のための経済対策を打つべきであり、特に地方経済の振興は国の景気対策として欠かせません。そのためには、政府が地方振興策及び地方の

雇用拡充を重要な施策として取り組み、必要な公共投資を積極的に行うことで、景気対策を進めるべきであります。

公共施設の耐震化や、近年多発している「ゲリラ豪雨」などの災害対策は、必要な公共事業として潜在的需要が高いと考えます。

このように、必要な公共投資は着実に推進すべきであり、地方経済が活性化する効果も大いに見込めます。

政府におかれては、地方の雇用拡充と内需振興を図る景気対策のために、真に必要とされる以下のような21世紀型の公共投資について、予算確保と執行を強く求めます。

#### 記

1 学校など公共施設の耐震化に積極的に取り組み、雇用の拡充と地方経済の活性化を図ること。

2 太陽光発電の設置や、介護施設の拡充といった21世紀型の公共投資を着実に促進し、内需の振興を図ること。

3 老朽化した施設（橋梁、トンネル、上下水道管など）の計画的な更新・大規模修繕を積極的に推進し、地域生活の安全と地方振興に取り組むこと。

# 全員協議会だより

全員協議会が開かれ、市づくりにかかわる重要事項について、行政側より説明を受けました。その主な項目は、左記のとおりです。

## ◎東御市新規学卒者雇用促進事業補助金（案）について

雇用情勢が厳しい状況下、地域産業の人材育成と、新規学卒者の地元就職促進及び雇用の回復を図るため、新規の雇用を行った市内業者に補助金を交付します。対象者は、市内に住所を有する方で、中・高・短大・専門学校・大学等を平成20年3月から平成23年3月までの間に卒業した方。対象労働者一人につき30万円です。

今後、景気の動向を見ながら、期間の延長も考えていきたいとの説明がありました。

## ◎土地開発公社の住宅団地（寺坂・白樺）時価による販売について

「寺坂団地」は販売開始後約15年を経過しており、現在27区画の未分譲区画があります。これを、現在の時価による販売をしますが、それに伴う売却損額は市よりの補填を考えて

います。「白樺団地」も同様に、販売開始後約10年で、未分譲区画が55区画あります。時価で販売した場合の現時点での売却損総額は3億8千164万1千円が見込まれます。既に購入されている地元の皆様には説明会を開催し、理解をしていただいたとのことでした。

## ◎体育施設及び都市公園（中央公園）の指定管理者導入について

市立体育施設のもつ課題を積極的に解決するとともに、経費のより一層の効率的・効果的な活用を図ることにより、充実した市民サービスの提供や行財政運営の効率化を期待するもので、中央公園と周辺体育施設を一体的に管理するため、指定管理者制度を導入します。議会の承認後、平成23年4月より管理運営を開始します。指定管理制度に関しては、指定管理期間の5年間を経た段階で、評価をし直していく旨の説明がありま

## ◎東部中学校窓ガラス等器物損壊事件経過報告について

平成21年12月16日から12月18日に発生した事件についての報告があり、損害額は58万8千755円で、全額保険で対応をしました。

## ◎財政健全化指標について

平成21年度の健全化判断比率の状況の説明を受けました。「実質公債費比率は14.7%」、将来負担率は111.5%で、東御市の財政状況は、概ね健全な状況で推移しています。

## ◎東御清翔高校及び周辺施設の整備について

「市道 県・東深井線」を、市道バイパスとして「市道 田中293号線」より東側に延長する計画について説明を受けました。この計画は市役所北側の駐車場を横切り、東御清翔高校の敷地を横断し東御消防署の西側に至る区間で、それに伴い、現在の東御清翔高校グラウンド南側の市道を、高校の敷地として提供するものです。東御市より平成22年9月1日に、県議会の文教企業委員会へ陳情書が提出されておりあります。

## ◎長野県地方税滞納整理機構の設置について

この機構は、長野県と県内の全市

町村で構成する広域連合で、地方自治法の規定に基づき、構成団体が賦課した地方税、及び国民健康保険法に基づき市町村が賦課した、国民健康保険料に係る滞納事案に係る滞納処分に関連する事務を行います。今年度中に広域連合設立を目指し、平成23年4月より業務を開始する予定です。

## ◎コミュニティFMの開局とそれに伴うオフトーク通信・有線放送の今後のスケジュールについて

コミュニティFM放送局「エフエムとうみ」は、既にスタジオが完成し、現在、試験放送電波を78.5MHzで発信しており、開局は10月3日の東御の日を予定しています。

これからの予定として、緊急告知FMラジオは、区等を通じて平成23年3月から8月の期間に配布を行い、同期間にオフトーク末端の回収を行う予定です。これに伴い、オフトーク通信と有線放送は平成23年9月末をもって行政放送を終了する予定です。

今後、「株式会社エフエムとうみ」への放送委託料は、行政情報等放送料で年間1千260万円、防災試験放送及び通信用料で年間252万円を予定しています。

# 議会のうごき

|           |         |  |            |  |
|-----------|---------|--|------------|--|
| <b>8月</b> | 1日      | 市民まつり花火大会  | 25日        | 2010信州ねんりんピックススポーツ交流大会総合開会式                        |
|           | 2日      | 議会運営委員会<br>佐久水道企業団議会運営委員会<br>愛知県愛西市議会行政視察来庁                            |            | 小学校校庭運動会(北御牧地区)<br>東部中学校創立50周年記念式典                 |
|           | 3日      | みまき福祉会理事会  | 26日        | 小学校校庭運動会(東部地区)<br>東京東御市の会                          |
|           | 4日      | 社会福祉協議会評議員会  |            | 金婚祝賀会  |
|           | 9日      | 佐久水道企業団議会  | 28日        | みまき福祉会役員会  |
|           | 11日     | 森林林業林産業活性化促進議員連盟総会<br>中学生ホームステイ帰国報告会                                   |            |  |
|           | 14日     | みまきニューどかんこ   | 2日         | 保育園運動会   |
|           | 15日     | 成人式  | 3日         | 総合体育大会   |
|           | 17日     | 正副委員長会議  | <b>10月</b> | エフエムとうみ開局式   |
|           | 19日     | 岐阜県土岐市議会来庁   |            | 東御の日記念式典   |
|           | 20日     | 東北信9市議会正副委員長研修会  | 4日         | 資源循環型施設建設候補地応募箇所<br>現地視察                           |
|           | 23日     | 東御市立文書館設置を求める請願来庁  | 5日         | 第16回議会改革推進委員会<br>全員協議会<br>会派代表者会                   |
|           | 25日     | 議会運営委員会<br>議員研修会<br>上信自動車道建設促進期成同盟会総会                                  |            | 小諸市・立科町・東御市議会議員研修会                                 |
|           | 26日     | 資源循環型施設建設候補地応募箇所現地視察   | 6日         | 第2回議会だより編集委員会                                      |
|           | 29日     | 白石みさよ氏長野県知事表彰受賞記念祝賀会   | 7日         | 川西保健衛生施設組合議会                                       |
|           | 30日     | 市民ゴルフ大会表彰式   | 9日~10日     | 火のアートフェスティバル                                       |
|           | 31日     | 石川県小松市議会行政視察来庁<br>土地開発公社理事会  | 10日        | 名立・北御牧友好協会役員と懇談会                                   |
|           |         |  | 12日        | 上田地域広域連合議会代表者会<br>石川県かほく市議会来庁<br>議会報告会実行委員会        |
| <b>9月</b> | 1日      | 平成22年第3回定例会開会<br>第15回議会改革推進委員会   | 13日~15日    | 会派清和会視察研修  |
|           | 4日      | 工業振興会・勤労者互助会・羽毛田工業団地協議会<br>合同親睦スポーツ大会<br>子育てフェスティバル・すくすく広場ワン・ツー・スリー開会式 | 17日        | 商工会法施行50周年記念式典                                     |
|           | 6日      | 全員協議会<br>議会報告会実行委員会  | 18日        | 第3回議会だより編集委員会<br>東信5市議会議員研修会                       |
|           | 7日~8日   | 第3回定例会一般質問   | 19日        | 小諸市外二市御牧ヶ原水道組合議会<br>暴力追放長野県民大会                     |
|           | 11日     | 2010信州ねんりんピック文化・芸術交流大会式典<br>川西赤十字病院交流広場                                | 20日        | 上田地域広域連合議会<br>秋田県湯沢市議会来庁                           |
|           | 13日     | 第3回定例会総括質疑・委員会付託   | 21日        | 各種団体親睦球技大会   |
|           | 14日     | 市営住宅伊勢原団地A棟建設工事起工式   | 22日        | 上田地域産業展<br>上田地域広域連合議会                              |
|           | 15日~17日 | 第3回定例会常任委員会  | 23日        | 福祉の森ふれあいフェスティバル<br>議会報告会                           |
|           | 18日~19日 | 巨峰の王国まつり   | 25日        | 上田市東御市真田共有財産組合議会<br>国道18号上田バイパス第二期工区設計<br>協議事前打合せ会 |
|           | 20日     | 北御牧地区敬老会   |            | 第4回議会だより編集委員会                                      |
|           | 21日     | 第3回定例会決算特別委員会<br>第3回定例会正副委員長会議<br>上信自動車道建設促進期成同盟会群馬県要望                 | 26日        | 会派のぞみの会視察研修  |
|           | 22日     | 議会報告会実行委員会   | 28日        | 小諸看護専門学校戴帽式  |
|           | 24日     | 第1回議会だより編集委員会<br>議会運営委員会<br>第3回定例会閉会                                   |            | 長崎県島原市議会来庁   |
|           |         |  | 28日~29日    | 社会福祉協議会役員視察研修                                      |

## 地域の将来は



荻原忠雄 さん  
(海善寺)

市会議員の皆さん日夜ご苦労さまです。

私は、民間企業を退職後農業に勤しんでいます。果菜類の成長を見て楽しみながら従事しています。毎日出かける所があつて良かったなと思います。

平成21年は区長として区民はもとより多くの皆様方に助けて頂き、大役を果たす事が出来ました。誠に有り難うございました。

区長という立場で市長さんを始め、多くの市職員の皆さん、そして市会議員の皆さんと、市政について懇談したり要望したりする事が出来た事は、生涯で一番貴重な体験だったと思います。

近年我が国は地方分権の方向へ移管しつつありますが、その歩みは蛇行しつつ進んでいるように見えます。余分な各団体等を通らなくても、事業推進が出来るような体制が早くできることを望むもの

です。

東御市も地区の自治を進めています。単に事務を区へ移管するのではなく、東御市の五地区をどのような形で発展させるのが課題になっています。

行政及び区がよりよい関係になるよう進められる事を望みます。そのためには市議会議員さん、区長さん及び行政の皆様との意思疎通が大切かと思えます。宜しくお願い致します。

和地区のことを一言。私達の身近な問題です。国道18号バイパスの建設に関して、市としてどのような構想で動いているのでしょうか。

地域としてはインターチェンジ誘致と同等といったはオーバーかも知れませんが、大きなインパクトのある事業です。アクセス道路が周囲に及ぼす影響は勿論ながら、単なる車の通過する交差点でなく、地域にとつて有益なものとなるよう行政・議会・地域一体となつて構想化して頂ければ幸いかと思います。

市議会の皆さん、市政の両輪として、さわやかな風の吹く活気溢れる東御市づくりにご奮闘ください。

## あしがき

11月号は第三回定例会で決算議会とも言われ平成21年度の一般会計の歳入・歳出について審査した内容を掲載しました。

市の財政は財政健全化法に関する健全化比率のうち実質公債費比率は、3ヶ年平均で14.7%で前年より1.3%改善され、将来負担比率は115.5%で前年度比で2.1%負担が高まりましたが、いずれも早期健全化基準に適合しており特に指摘される事項はないということです。

これからも大きな事業があります。市からの事業の説明会や広報、またこの議会だよりを読んで頂き、事業内容はどのようなものかよく理解していただくことが大切と考えます。

今年は春先は低温の日が続く、梅雨が長く、明けたと同時に暑い日が続く、猛暑日もありました。熱中症で命を奪われる人もあり、また集中的に雨も降り被害も出ました。自然界に異変が起きているような感じもしますが、原因は何か、科学的な考察も必要かと思う今頃です。

さて今月号をもって広報調査特別委員会の任期が終わりになります。2年間、8回にわたり発行してきました。「わかりやすく」「読みやすく」を目標にできましたが如何だったでしょうか。思うていることを、わかりやすくまとめて文章にすることのいかに難しいことか、わかったような気がいたしました。

多勢の皆さんに読んで頂き、市政の動きがわかつてもらえることが一番と思っております。今後ともこの議会だよりがお役に立つことを念じつつ、「私の一言」をはじめご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

清水 新一

## 広報委員

清水 新一  
依田 俊良  
蓮見 喜昭  
土屋 伸吉  
若林 幹雄

阿部貴代枝  
石和 大  
三縄 雅枝  
町田 千秋